

# 再生講座の案内

申し込み受付は、6月16日(月) 10:00から電話にて受け付けます。

3日(木)	衣服のリフォーム相談	10:00~12:00 13:00~15:00	200円
7日(月)	布ぞうり	10:00~15:00	500円
8日(火)	ティアードスカートonパンツ	10:00~15:00	700円
11日(金)	糸つむぎ体験	10:00~12:00	300円
15日(火)	さき織り体験	10:00~12:00	300円
17日(木)	はたきづくり	10:00~12:00	300円
18日(金)	衣服のリフォーム相談	10:00~12:00 13:00~15:00	200円
19日(土)	刃物とぎ&まな板削り	10:00~12:00	各200円
20日(日)	おもちゃ病院	13:00~15:00	100円
24日(木)	はじめてのPATCHワーク	10:00~12:00	300円
25日(金)	マイはし袋をつくろう	10:00~12:00	200円
26日(土)	かさ布でマイバック	13:00~15:00	200円

※要予約、要参加費

**イベントの案内**  
 ●20日(日) 10時~14時  
**エコマーケット**  
 ■清掃工場内でフリーマーケットを開催します。  
 ■出店25店 出店料500円/1店  
 ※出店は事前の申し込みが必要で、粗大ごみで出されたものを、補修して抽選で販売します。  
 ●20日(日) 16時~  
**再生品抽選会**  
 ■申し込み先/エコプラザ  
 ■申込期間/7月1日~7月20日 15時まで

エコプラザでは古本の無料提供や、古着の販売、再生家具・自転車の抽選販売、リフォーム・リメイク作品の展示・販売、工房開放をいたします。お気軽にお出かけ下さい。

## エコプラザ 7月の行事案内

# エコプラザ

「ゆずります」  
 「もとめます」  
**情報掲示板**  
 不要になった物、ほしい物を情報交換によってゆずり合ったりコーナーです。情報掲示を希望する方は、直接エコプラザ窓口、か電話で申し込みください。※最新情報は、エコプラザ掲示板または、ホームページに掲載しています。

申し込み・問い合わせ ☎33-0520 <http://www.saga-ecoplaza.jp/>  
 佐賀市エコプラザ(清掃工場内) 【開館時間】10時~17時 【休館日】水曜日

**生ごみの水分をきちんと切りましょう!**  
 基本は「最初から濡らさない!」! 野菜等は、使えない部分を始めに分けてから洗いまじりましょう。乾いた調理くずを水に濡らさないように、別の入れ物を用意するなどの工夫をしましょう。

**悪臭防止・焼却時の二酸化炭素排出を抑えるために**  
 ◆6月は買い物袋持参運動の強化月間  
 佐賀市では買い物袋持参運動を推進しています。  
 また、佐賀市のホームページに、マイバッグ推進店の紹介を掲載しています。

## マイバックキャンペーン

**省エネワンポイント!**  
 エアコンを購入するときは、「省エネタイプ」を選びましょう。

省エネ基準達成率 **128%**  
 この数値が大きい方が、より省エネタイプであることを表しています。

問い合わせ

環境センター内 ごみ減量推進係

☎30-2430

## 発生源ワースト

3



**1位 境界ブロックの穴**  
 対策 水が溜まらないように土やコンクリートで穴を塞ぐ



**2位 タメマス**  
 対策 ネットなどで蚊の出入りを防ぐ



**3位 植木鉢の受け皿**  
 対策 2週間に1度は掃除をする。

市では、アカイエカ(夜に人を刺す蚊)のポウフワを4月から10月にかけて河川やクリーク、水路などに薬剤散布して駆除しています。しかし最近の蚊に関する苦情相談は、昼に刺す蚊であるヤブ蚊(ヒトスジシマカ)が多くなっています。ヤブ蚊は少量の溜まった水からも発生します。家の周りを確認し、発生源になるようなものは対策をしましょう。



ヒトスジシマカ

住宅地に増えている蚊



ユスリカ

「ハ工」の仲間で吸血しない



アカイエカ

昔から佐賀平野に居た

(平成19年度モデル地区調査結果)

## 防蚊対策モデル地区募集

防蚊対策モデル地区を自治会単位で募集しています。住み良い環境づくりにみんなで取り組みませんか?

申し込み・問い合わせ

本庁 環境課 環境総務係

☎40-7200

## 感染防止策

汚染された食肉から他の食品への2次汚染防止

食品の十分な加熱  
 (食品の中心温度を75℃以上、1分以上)

手指の洗浄・消毒

糞便やおむつの衛生的な処理

問い合わせ

本庁 健康づくり課 保健予防係(ほほえみ館)

☎40-7281

# 0-1-57の 見えない危険。病原性大腸菌感染症の種類と態様

大腸菌は、人や動物の腸管内、食品や河川水などの自然界に多く生息する、大きさ(1~2ミクロン)の細菌で、ほとんどのものは無害ですが、一部のものは人に食中毒を起こすことがあり、病原性大腸菌と呼ばれています。

### 感染経路

人への感染は、汚染された食品を十分加熱せずに摂取することや、2次的に汚染された食品の摂取による感染経路がほとんどであると考えられています。一般的な食中毒菌の食品1gあたりの感染量は1万~10万個以上であるとされていますが、0-157の場合は100~500個程度の少量の菌でも感染するとされています。

### 潜伏期間・主な感染経路

0-157による食中毒の潜伏期間は、4日~9日とされ、大量の潜血を伴う出血性下痢と激しい腹痛が主な症状です。通常は、発症後4日~8日で治癒するとされていますが、乳幼児や免疫力の弱い高齢者が感染した場合に、発症後3日から14日で溶血性尿毒症候群を併発し重病になる場合もあります。